

第7回浦河町総合計画審議会

日 時 平成29年 4月26日(水)
午前10時00分～
場 所 浦河町役場 2階 大会議室

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 審 議

- ・ 第7次浦河町総合計画基本計画(案)について

4. 閉 会

 基本計画「政策Ⅲ 活力を生み出すまちづくり」修正箇所

(施策①農業の振興【農業構造】)

P39

■現況と課題

1. 担い手の育成・確保

- ①近年、自然環境の変化からか、台風や大雨等の災害に見舞われることが多くなり、TPPも、いまだ先行きが不透明であることから、農業を取り巻く状況は、不安要素が増加しています。国も新規就農者への支援等の政策は講じているものの、農業者の減少に歯止めがかからず、また、本町も同様の傾向にあり、依然、高齢化による担い手不足や経営基盤の脆弱化により、農業者の減少が続いているだけではなく、**農業全体の人手不足も大きな課題となっています。**

(施策①農業の振興【軽種馬】)

P43

■今後の方向性

1. 生産経営基盤の強化

- ①道営事業による中山間総合整備事業や草地畜産基盤整備事業を活用し、草地改良等の農業基盤整備を推進し、**生産性の向上を図ります。**また、小規模な土地改良事業については、町単独事業で支援を行います。
- ③日本軽種馬協会の競走馬生産振興事業（財源JRA益金）が平成29年度までとなっており、馬産地の維持・発展のため、次期競走馬生産振興事業に向けて、**軽種馬生産構造改革推進会議などでの意見交換や要望活動を行い、関係団体が一丸となって**担い手不足や経営の安定化などの解決をめざします。

P44

■めざす目標値

目標指標	現状 (H27)	目標値 (H33)
軽種馬生産頭数	1,228頭	1,228頭
ホッカイドウ競馬の単年度収支	3年連続黒字	黒字継続

（施策①農業の振興【耕種】）

P47

■現況と課題

- ①浦河町の気候を活かした、夏いちごの生産については、新規就農者も増加し、生産量、生産額ともに増加しています。その一方で、出荷基盤である選果場の整備拡大が近々の課題となっているほか、他の地域でも夏いちご生産が始まっており、今後、他産地と競合することが予想されます。また、市場等から安定した需要があるものの、高品質が求められており、栽培管理等の再確認が必要となっています。
- ②軽種馬からの転換、複合作物として奨励しているアスパラガス生産については、生産者の栽培管理、栽培技術が向上し、生産量・額ともに増加しています。今後、苗の更新等のため、栽培面積の確保が必要であり、更に生産量の増加を図るためには、新規生産者の確保が求められています。また、冬期間のレタスの栽培が始まるなど、新たな作物の生産に向けた取り組みも行われています。

P48

■今後の方向性

- ①関係機関と連携し、いちご選果場の整備拡大を図り、さらなる生産量の増加と、品質の維持・向上をめざします。また、生産量の増加に伴う、流通の確保を図るとともに、積極的な情報発信により、夏いちごの産地としての知名度アップをめざします。
- ②イベント等でのアスパラ販売により、浦河産アスパラのPR活動を実施し、今後の苗更新については生産者と協議しながら、面積確保の検討や新規生産者の推進を図ります。また、安定的な所得確保のため、新規作物栽培に向けた取り組みに対し、関係機関と連携した支援を行います。

（施策①農業の振興【農林業の被害防止】）

P49

■今後の方向性

- ①浦河町鳥獣被害防止対策協議会を中心に、個体数の管理も考慮しながら継続的なエゾシカ駆除対策を推進するとともに、電気牧柵の設置資材費補助により農業被害を未然に防止する取り組みを支援します。また、日高振興局管内鳥獣被害対策連絡協議会で情報の共有化を図り、連携の強化に努めます。

【主な実施事業】シカ焼却施設の運営・農業被害防止電気牧柵設置事業補助

（施策②林業の振興）

P53

■今後の方向性

3. 森林の管理と多面的機能の発揮

- ①森林の持つ多面的（公益的）機能を総合的かつ高度に発揮させるため、適正な森林施業の実施や森林保全を推進するとともに、治山事業などの実施により林地の保全に努めます。また、民有林についても適正な管理が行われるよう、関係機関との連携を強化します。

（施策③水産業の振興）

P54

■現況と課題

1. 漁業資源の持続的な利用と栽培漁業の推進

- ②ウニ、ハタハタの種苗生産やタコの産卵礁投入、マツカワの放流などこれまで進めてきた栽培漁業を継続するとともに、新たな対象魚種の選定、事業化により安定的な生産をめざすことが必要です。また、漁業資源は自然環境に大きく影響を受けますが、近年は、低気圧・台風・害獣により被害の多様化の傾向が強まっていることもあり、生育環境の保全、栽培漁業の振興が求められています。

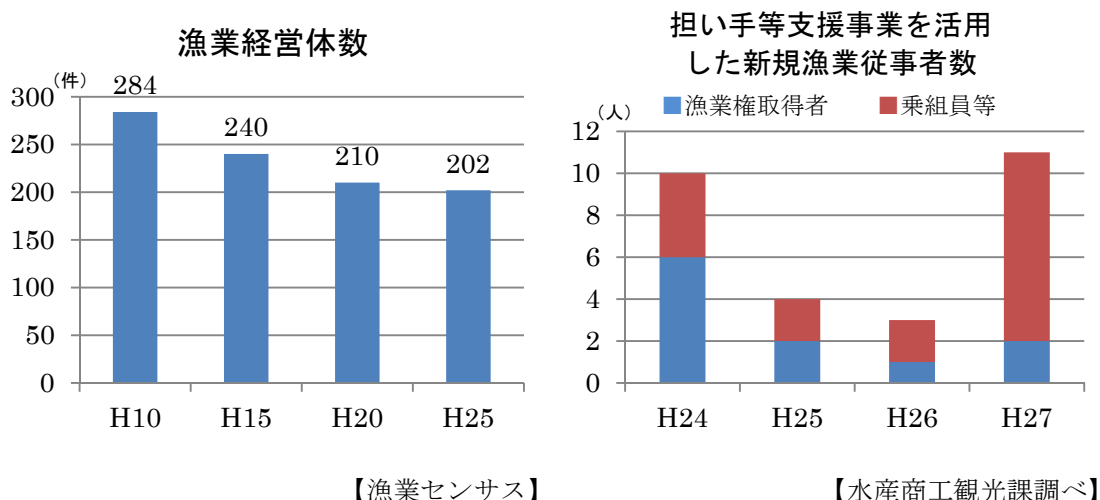
2. 担い手の育成・確保

- ①漁業は毎年一定の収入が確保されない不安定な産業ですが、更に近年は、燃油高、資材の高騰、魚価の不安定化など厳しい状況が加わり、また高齢化の進行により組合員の減少が続いています。このままでは、浜の活気がなくなり町全体への波及が危惧されることから、漁業で安定した収入を得られるよう魅力ある産業にしていくことが重要であり、更なる担い手の確保に向け、関係機関と連携を強化する必要があります。

3. 安全・安心な水産物の安定供給と競争力の強化

- ②環太平洋パートナーシップ（TPP）の合意により、コンブなど海藻類については関税が削減、サケやイカは長期的には関税が撤廃されることとなりました。その発効時期など先行き不透明な部分もありますが、発効後には水産物の価格への影響が懸念されます。

P55 (グラフの修正)



P56

■今後の方向性

1. 漁業資源の持続的な利用と栽培漁業の推進

②比較的安定した水揚げがあるタコ類は重要な魚種となっています。今後も持続可能で安定した資源維持を図るため入礁効果調査を実施し、産卵礁投入による基盤整備を推進します。また、水産資源の維持・増大のため、**これまで進めてきたウニ・ハタハタのほか、ナマコの種苗生産・放流を推進**するとともに、新たな栽培対象魚種研究のためマツカワ中間育成施設との連携を図り、栽培漁業の更なる振興を図ります。

2. 担い手の育成・確保

①次の世代への漁労技術の承継など地域漁業を持続させるため、漁業担い手等支援事業の継続と、様々な角度から漁業後継者を育て増やしていく仕組みづくりについて、**経営継承も含めて**引き続き漁業協同組合と連携し検討を進め、広く周知していきます。

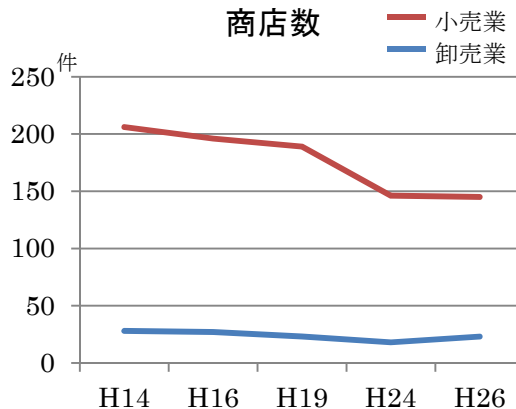
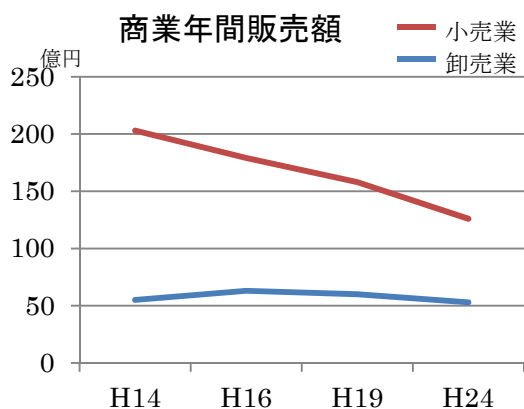
P57

■めざす目標値

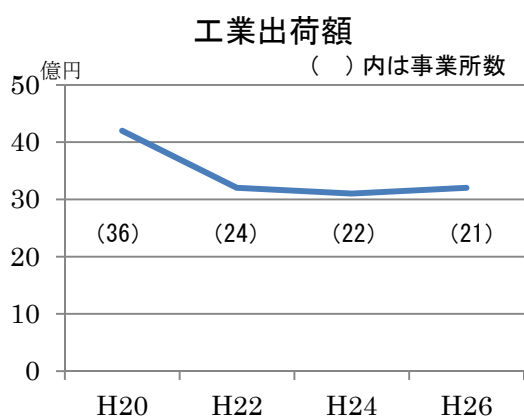
目標指標	現状 (H27)	目標値 (H33)
浦河町担い手等支援事業を活用した新規漁業従事者数	28件 (H24~H27)	25件 (5年間)
種苗生産対象魚種	2魚種	4魚種

(施策④商工業の振興)

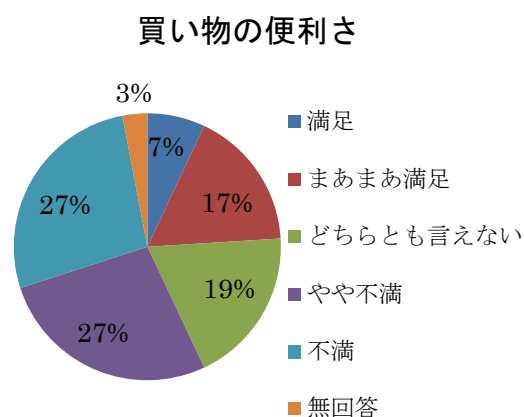
P59 (グラフの修正)



【商業統計調査】



【工業統計調査】



【平成 27 年地方創生住民アンケート】

P61

■めざす目標値

目標指標	現状 (H27)	目標値 (H33)
「買い物の便利さ」について満足、やや満足と答える割合	24%	40%
創業相談を受けて新規創業に至った件数	年間3件	年間3件
ご当地特産品開発支援事業開発商品	年間5事業	年間5事業

(施策⑤観光の振興)

P65

■今後の方向性

2. 観光まちおこし体制確立と人材育成

- ①「観光からのまちおこし」の司令塔を担う観光協会の各種事業を支援し、マーケティングによるニーズの把握や、ターゲットを明確化した事業展開、効果的な観光PRやプロモーション・情報発信など、観光振興事業のマネジメントについて、一層の機能強化を図ります。

【主な実施事業】観光情報発信事業・観光案内事業・国内外旅行エージェントへのセールス活動・国外旅行メディア関係者などへのセールス活動・着地型観光体験プログラムの企画、開発

(施策⑥雇用環境の充実)

P67

■今後の方向性

- ②日高管内を除く町外から町内の企業等に就職し、居住することとなった若者世代に支援するほか、新規学卒者を新たに雇用し、雇用創出に努めた企業に対し支援します。また、早期離職やミスマッチを防ぐため、生徒が早い段階で実際の仕事内容を理解できるよう、町内企業が行う職業体験を支援するほか、雇用の場の安定した確保のため、ハローワークなどの関係機関との連携を強化し、求人求職の情報提供を促進します。

(施策⑦交流・連携の推進)

P69

■現況と課題

3. 国際交流の推進

- ① ~~浦河日中友好協会が~~独自の事業や国際交流活動を展開している団体に対し、町も協力・支援を行ってきました。今後は、アジアからの観光客誘致など地域活性化に向けて、さらに関係機関との連携を強化する必要があります。

P71

■今後の方向性

3. 国際交流の推進

- ① ~~浦河日中友好協会や日高地域日台親善協会など、~~関係団体や機関と連携し、中国や台湾をはじめ様々な国の人との交流を推進します。

【主な実施事業】国際交流協力団体への支援・国際理解フォーラム

(施策⑧広域道路・交通網の整備)

P73

■今後の方向性

1. 広域道路網の整備

- ① 物流、観光などの産業面と緊急医療、防災対策などの効果が期待されている日高自動車道の整備について、期成会の活動を支援するとともに、関係機関への要望に努めます。

【主な実施事業】日高自動車道整備事業・高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会・**優駿日高道!!オール日高魅力発信事業**

2. 地域間交通の確保

- ① JR日高線は地域住民、特に交通弱者の日常の足として、また、地域と地域をつなぐ重要な路線であります。今後、外国人観光客の受け入れや、交流人口拡大など、観光振興による地域活性化を推進するうえで、日高線は有効な交通手段であることから、今後も沿線自治体と連携し早期復旧に向け要望します。

【主な実施事業】JR日高線沿線自治体協議会・**JR日高線沿線地域の公共交通に関する調査・検討協議会**